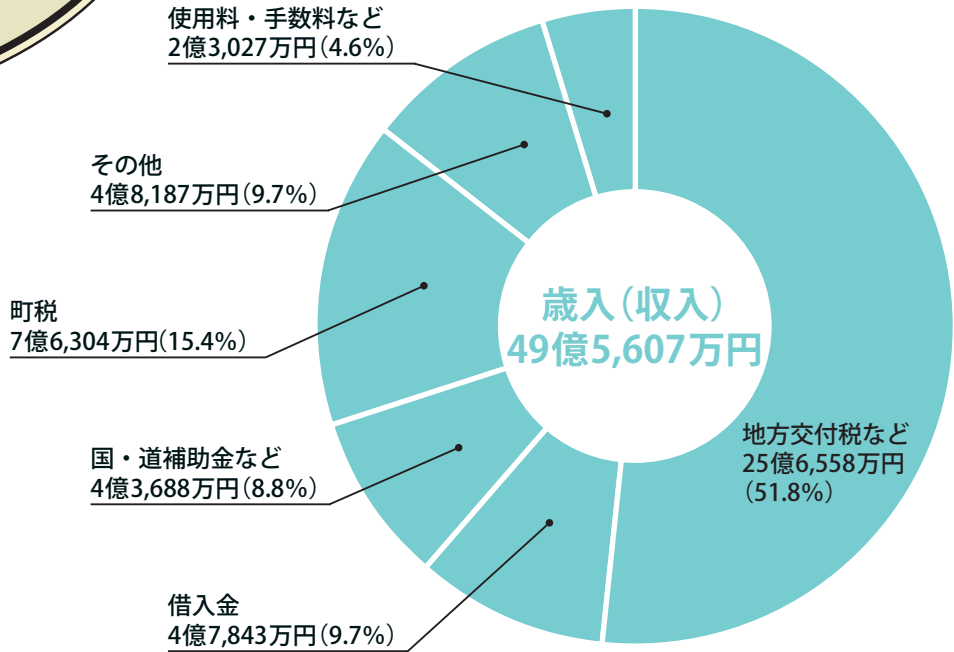
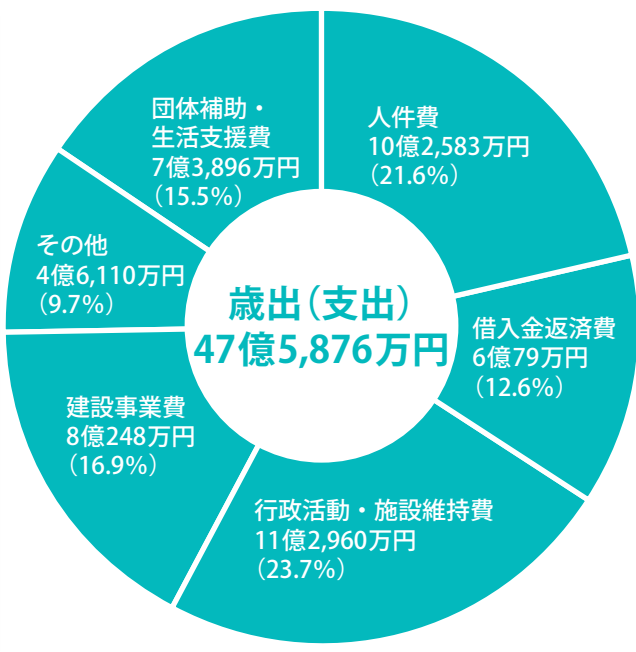


# 佐呂間町決算報告

町では、皆さんが納めた貴重な税金がどのように使われているのかを知っていただくため、予算・決算などを基に財政状況を公表しています。



- 【人件費】**  
職員給与・議会議員報酬など
- 【借入金返済費】**  
大きな事業を行うために借り入れたお金の返済
- 【行政活動・施設維持費】**  
一般行政活動を行う経費や施設などの整備に使った維持的経費
- 【建設事業費】**  
道路、公共施設、産業基盤などの整備に使った投資的経費
- 【その他】**  
一般会計から特別会計に繰り出したお金、基金の積立など
- 【団体補助・生活支援費】**  
団体への負担金や補助金、高齢者・障がい者への生活支援費

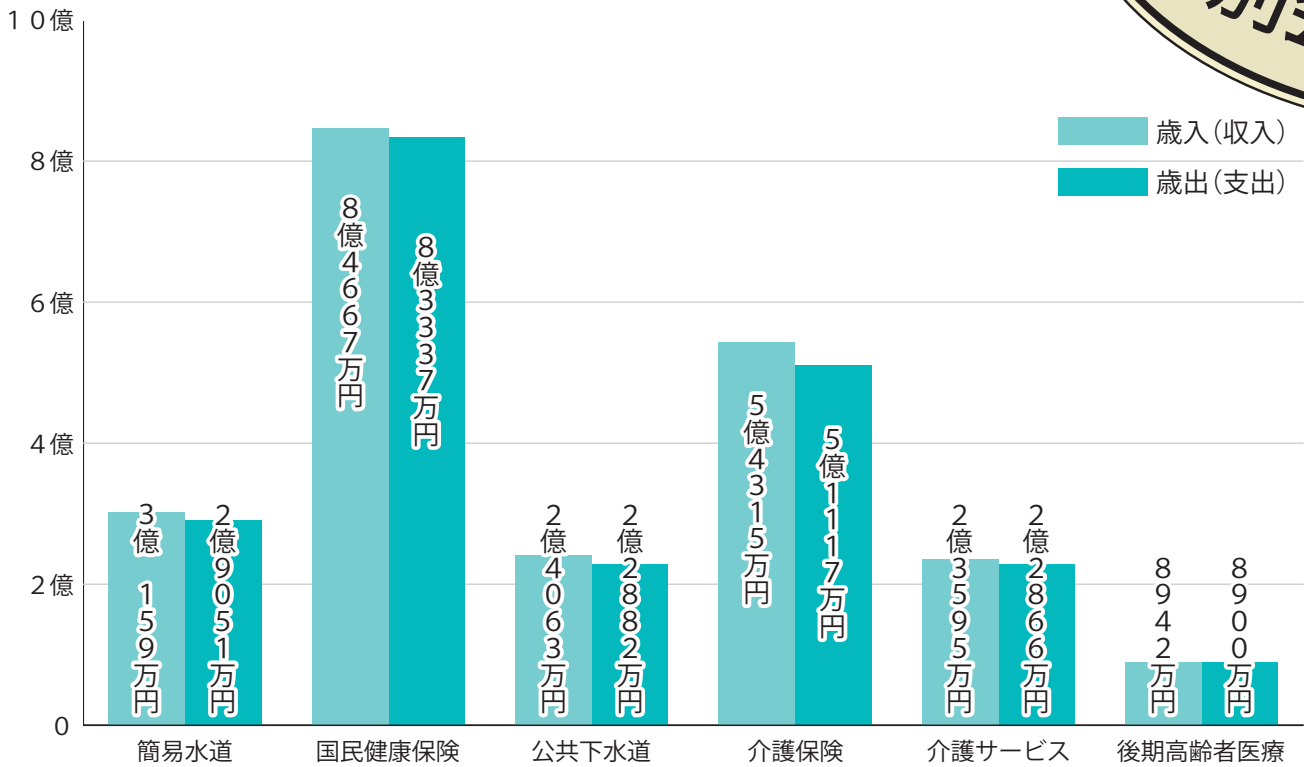


## 一般会計財産運営状況の概要

平成30年度予算編成においては、第4期佐呂間町総合計画に定めた将来像の実現を目指すとともに、後期5カ年実施計画と地方創生総合戦略に掲げた重点プロジェクトの実行に努めつつ、将来を見据えた計画的な予算となるようコスト意識を持ち、限られた財源のなかで最大の事務事業効果が発揮できるよう、国や道などの補助制度の積極的な活用と交付税措置が見込まれる有利な起債による財源確保に努め、バランスのとれた行財政運営を進める一方で、町長の公約を踏まえた独自施策の積極的な展開を図る予算編成を行いました。

地方交付税総額は、23億3564万円、前年度と比較して1億645万円の減額となり、義務的経費のより一層の抑制はもとより、補助金や町債等による財源確保に努めました。最終的に財政調整基金を5600万円取り崩すこととなり、土地改良や町有林整備事業など、第一次産業基盤整備をはじめ、簡易水道拡張や町道改良舗装事業などのインフラ確保事業、二棟目となる高齢者福祉住宅建設や図書館・児童館駐車場等整備工事など、高齢者および教育関連整備に取り組みしました。

最終予算額は49億2895万円となりました。歳入決算額49億5607万円、歳出決算額47億5876万円となり、翌年度繰越財源1920万円を差し引いた実質収支差引残額は1億7811万円となりました。



## 基金と起債

- 基金(貯金) 54億692万円
- 起債(借金) 87億8,976万円

◆平成30年度決算を町民1人当たりによると...

収入	支出	貯金	借金
141万円	135万円	105万円	171万円

※平成31年3月末人口：5,126人  
 ※特別会計決算額を含めて計算しています。

## ◆健全化判断比率

指標名	比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	- (-)	15.00	20.00
連結実質赤字比率	- (-)	20.00	30.00
実質公債費比率	6.1 (5.7)	25.0	35.0
将来負担比率	- (-)	350.0	基準なし

※比率として表れない場合は「-」と表記しています。( )は前年度数値

## ◆公営企業会計に係る資金不足比率

特別会計名	比率	経営健全化基準
簡易水道	- (-)	20.00
公共下水道	- (-)	20.00

※資金不足が生じていないため「-」と表記しています。( )は前年度数値

健全化判断比率および資金不足比率のいずれも早期健全化基準および経営健全化基準を下回っています

※佐呂間町公式ホームページにも掲載しています。

## 財政健全化判断比率 資金不足比率の公表

平成30年度の財政健全化判断比率および資金不足比率について、佐呂間町監査委員が8月8日に審査を行いました。審査にあたっては、町長から提出された書類について適正に作成されているか等に主眼をおき、関係書類との照合およびその他必要と認められる審査手続を実施しました。